



BRILLIANT CEBU
ENGLISH ACADEMY

渡航ガイドブック

①セブ島・学校周辺の基本情報

- 公用語 英語、フィリピン語
- 宗教 カトリック83%、その他のキリスト教10%、イスラム教5%、他2%
- 通貨 フィリピン・ペソ(1ペソ=約2.7円、レートによって変動)

■気候 熱帯性気候。年間平均気温は26～30℃ ▼雨季:6～11月 乾季:12～5月

- ★1月中旬～ 5月中旬…セブのベストシーズン。快晴で気温も高く、海も穏やかで過ごしやすいです。特にダイビングをするには最適な時期になります！
- ★5月下旬～ 7月中旬…若干雨が多くなりますが、朝から夕方まで降り続くことはほとんどなく、一日のうちのどこかでスコールが降る程度です。
- ★7月下旬～ 8月中旬…降水量は減り、日照量が上がりますが、季節風が強くなり海が荒れがちになります。
- ★8月下旬～11月下旬…スコールのシーズンですが、天気は良いことが多いです。海は穏やかです。
- ★12月上旬～ 1月上旬…少し雨が多いシーズンです。雨季の終わりにまとまって降るようです。海は穏やかです。

■交通

セブマクタン空港から学校施設まではタクシーで15分程度。
1番近いショッピングモール(パークモール)までは徒歩7分、タクシーは5分弱。
セブ市内の大型ショッピングモール(SMモール)まではタクシーで10分弱。
(※道路の込み具合によって移動時間は変わってきます)

■外食

パークモール内に日本食レストラン、メキシカン、フィリピン料理のお店があります。(学校から、徒歩10分以内で行くことができます。)
学校施設の裏には、コーヒーやカフェラテ、サンドイッチなどの洋風カフェがあり、そちらは室内に人工芝生やブランコが設置された小スペースの空間があります。同じ学生様同士や、小さなお子様がいらっやいますご家族もリラックスに行かれてみてはどうでしょうか。



②渡航前の準備

■直行便 (⇒ セブ行) ※復路もしくはフィリピンを出国する航空券がなければ入国できませんので必ずご準備ください。

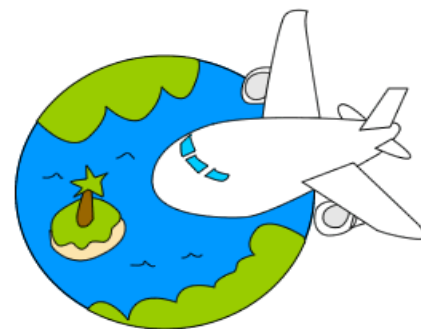
| 便名 | 曜日 | 成田発 | セブ着 | 所要時間 |
|--------|------|-------|-------|--------|
| PR433 | 毎日 | 14:25 | 19:00 | 5時間35分 |
| PR435 | 毎日 | 9:35 | 14:05 | 5時間30分 |
| JW601 | 毎日 | 10:00 | 14:30 | 5時間30分 |
| 5J5063 | 火木土日 | 12:05 | 16:20 | 5時間15分 |
| 便名 | 曜日 | 関西発 | セブ着 | 所要時間 |
| PR409 | 毎日 | 15:25 | 19:10 | 4時間45分 |
| 便名 | 曜日 | 名古屋発 | セブ着 | 所要時間 |
| PR479 | 水土日 | 15:25 | 19:10 | 4時間45分 |

▼直行便のほかに乗り換え便もいくつか経路がございます。
便名・日程に関しましては、各航空会社にお問い合わせ下さいませ。

▼パスポートの残存有効期間は、『滞在期間+6カ月間』必要です。
※航空券を手配されましたら到着日時と便名（例：PR433など）をお知らせください。
現地スタッフによるピックアップの日程調整のため必ず必要です。

■海外旅行保険

留学中の病気や怪我、盗難などのトラブルについて、日本語での24時間緊急ダイレクトコールサービスなどを提供する保険会社もあります。
クレジットカード付帯保険については、カード会社によって若干の違いはありますが、保険期間が3カ月までと限定されているものが多いです。



③ビザの種類と必要書類

■SSP (Special Study Permit)

フィリピンで語学留学するために必要な留学ビザのような役割をする許可書です。
入国カードには、「観光」と記入し観光ビザで入国はしますが、本来ですと就業、就学活動は資格外活動になります。
この特別就学許可証を取得することにより、観光ビザで語学学習することが可能になります。
発行元はフィリピン法務相管轄の移民局で、SSPなしで授業を受けることは不法行為に当たります。
これは個人で家庭教師を雇う際にも同じく適用されます。
SSPはフィリピンの移民局からSSP認定を受けた語学学校のみ申請でき、現地到着後に申請すれば問題ありません。
一度取得すると6カ月間有効ですが、他校へ転校する場合は再度申請が必要になりますのでご注意ください。

- 必要書類：パスポート、証明写真1枚（パスポート写真と同サイズ）
- 費用：約6,500ペソ（約15,600円）

■ノービザでの渡航について

4週以内の留学の方は、観光で渡航する際と同様にノービザ（観光ビザ）での入国が可能です。
その後、4週以上の長期滞在や就学を合法的に行うためのビザを、現地到着後に学校が申請代行いたします。
入国審査時に入国目的を必ず『観光』としてください。
入国カードも同様に『観光』の欄にチェックを入れてください。



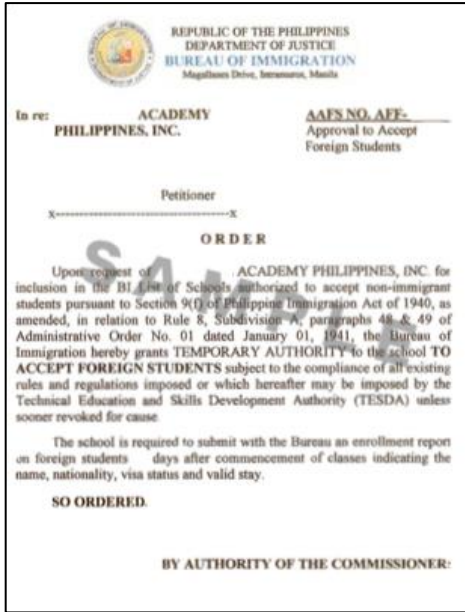
| 延長回数 | 延長費用 | 滞在可能期間 | 必要な写真枚数 |
|------|-----------------------------|--------|---------|
| 1回目 | 3,440ペソ（約8,256円） | 8週間まで | 計1枚 |
| 2回目 | 4,710ペソ 計8,150ペソ（約19,560円） | 12週間まで | 計2枚 |
| 3回目 | 2,740ペソ 計10,890ペソ（約26,136円） | 16週間まで | 計2枚 |
| 4回目 | 2,740ペソ 計13,630ペソ（約32,712円） | 20週間まで | 計3枚 |
| 5回目 | 2,740ペソ 計16,370ペソ（約39,288円） | 24週間まで | 計3枚 |

※1ペソ=2.4円計算

■ACR I-Card (外国人登録証)

ACR I-Cardは、観光を目的としてフィリピンに長期滞在（59日以上）する方、または短期間でも就学や就労する（SSP/SWPを取得した）外国人に対して取得が義務付けられている外国人登録証（Alien Certificate of Registration IdentityCard, ACR I-card）です。

ACR I-cardを取得しなかった場合、出国の際に空港でACR I-card取得相当の金額の請求または罰金が科せられます。また、ACR I-cardはフィリピンへの再入国許可や特別再入国証として使うことはできず、出国と同時に空港の移民庁職員へACR I-cardを返却しなければなりません。



●必要書類：パスポート、証明写真1枚

●費用：3,000ペソ（約7,200円）

申請は学校が代理で行います。
フィリピン国内でも学校の所在している地域の移民局システム上、ACR I-Cardが発行できない地域もあります。
セブ島に59日以上留学する場合（日本国籍の方）は、特別就学許可書（SSP）
滞在査証（ビザ）及びに加え外国人登録証（ACR I-card）が必要になります。

※59日未満の滞在の方は外国人登録証（ACR I-card）の取得は必要ございません。

④出発当日～現地到着まで



■出発当日

最低でも飛行機出発時刻の2時間前までに空港に到着し、出国手続きをしてください。

機内には各辺の長さが55×40×23cm以内かつ7kg以下のものは1個まで持ち込み可能です。

無料手荷物許容量を超える超過手荷物を預ける場合は、超過手荷物料金を払わなければなりませんので注意下さい。

●持ち込みが禁止されているもの

(例) 各種スプレー・一部薬品・一部着火具・刀剣類・ナイフ類など

詳細は空港または航空会社のwebサイトをご確認ください。



■日本発国際線の航空機内への液体物持ち込み制限について

100ml (g) を超える容器に入ったあらゆる液体物は、航空機内への持ち込みが禁止されております。

但しスーツケースに入れてチェックインカウンターで荷物を預ける場合は100ml (g) 以上でも持ち込み可能です。

●手荷物での液体物持ち込み制限

▼あらゆる液体物は、100ml以下の容器に入れて下さい。

(100mlを超える容器に100ml以下の液体物が入ってる場合は不可となります)

▼それらの容器を再封可能な容器1L以下の透明プラスチック袋に余裕をもって入れておいてください。

▼おひとり様当たりの袋の数は一つのみです。そのプラスチック袋は、検査場において検査員へ提示が必要です。

▼医薬品、ベビーミルク・ベビーフード、特別な制限食などについては、プラスチック袋に入れなくても持ち込み可能ですが、機内での必要性についての確認が必要な場合があります。

▼保安検査後の免税店で購入した酒類等は機内への持ち込みが可能ですが、海外で乗り継ぐ場合はその国のルールに従い没収される場合もあります。

※検査の対象になる液体物について対象となる液体物は、保安検査場で放棄することになりますので事前によく確認してください。

【持ち込みが禁止されている液体物の一例】

味噌、漬物、缶詰、ヨーグルト、ゼリー、シャンプーや液体ソープ等、歯磨き粉、ヘアクリーム、ライター、他

⑥現地での生活について

■交通手段

セブ島での交通手段は、日本と違って独特です。タクシー、ジブニー（決まった路線を走るが停留所などではなく乗り降り自由な公共交通）、トライシクルなどが一般的な交通手段ですが、現地での移動は安全性の高いタクシーを利用するようにして下さい。タクシーの利用方法ですが、日本と同じく基本メーター制になりますが、初乗りとして40ペソ、後は移動距離での加算となります。タクシーの運転手は外国人相手に高い運賃を請求してきたり、メーターを使用せずに、行き先のホテルやお店によって、勝手に値段を告げてくる場合が稀にありますので、必ずメーターを動かしているか確認してください。

嫌だと断られたら、そのタクシーを降りて違うタクシーを利用して下さい。メーターの使用の確認、使用しない場合の目的地までの値段を必ず確認が必要です。また、安全性の高いタクシーでも夜間などの一人での乗車は避けましょう。



■インターネット

スマートフォンやノートパソコン持参の方は、Wi-Fi受信可能な施設（セブ空港内、スターバックスコーヒーなど）が増えていますので、無料でインターネットにアクセスする事ができます。

ブリリアントセブでは、各お部屋内に専用モデムを設置しておりますので、フィリピンでありながら早い接続が可能になっています。また、有線、無線、どちらでも回線をご使用頂けます。

■電化製品の使用について

日本の電圧が110Vに対し、フィリピンは220Vです。パソコンやデジタルカメラ、携帯電話は変圧器を使用せずに現地でも使用が可能です。ヘアードライヤーは滞在部屋に備えつけております。



■飲酒について

原則的に学校内への酒類の持ち込み及び飲酒は規則で禁止されていますが、滞在部屋での飲酒は問題ございません。学校建物内、9FにございますBar、又は、1Fにございます売店にて、お酒を購入・飲酒する事が出来ます。

■国際電話

国内・国際電話ともに空港やショッピングモールなどの公衆電話からかけられますが、Wifiモデムを学校内とお部屋に設置しておりますのでLINE等のインターネット無料電話を利用されることをおすすめします。

比較的早いスピードでYouTube等で動画を視聴する事も可能です。

フィリピンには、3社 (SMART,GLOBE,SUN) の携帯電話通信会社があり、電話機本体と同時にSIMと呼ばれる話番号が付いたICカードを購入して電話機本体に挿入してご使用できます。

当校では現地の携帯を無料レンタルがあります。

※プリペイド式ですので、カードはご購入をお願いします。操作方法は現地学校でご説明します。

緊急時や、留学されております学生の皆様同士で連絡を取り合う際に、Wifi環境がないエリアでもすぐに連絡を取ることが可能です。日本へ掛けた際の通話料金は500ペソ(約1,000円)でおよそ15分間かかります。

★0081+ (0を除いた日本の市外局番) + (電話番号) を続けてダイヤル。
例) 東京 (03) 1234-5678 にかける場合「 0081 + 3 + 1234-5678 」

- スクール現地代表番号 ⇒ +63-32-420-9987
- 現地日本人スタッフ: 岡崎 (日本語対応) ⇒ +63-927-563-1543



⑦現地生活Q&A

Q1.お金はどのようにして持っていけば良いですか。

A.滞在期間が3ヶ月以下の場合には全て現金(日本円)、4ヶ月以上の場合には最初の1ヶ月分の生活費と学校へ支払う費用は現金、それ以外は国際キャッシュカードで必要な分を日本口座から引き出せるようにすると便利です。

※国際キャッシュカードは、新生銀行またはシティバンクにお問い合わせ下さい。

Q2.両替はどこでできますか。

A.空港内、ショッピングセンター等で手軽にできます。両替所によって為替レートが若干異なりますので、為替レートの良い所で両替するのがお勧めです。

初日のオリエンテーション時に両替所へご案内いたしますので、ご安心下さい。

Q3.土曜、日曜、祝日は通常授業がないみたいですが、希望を出したら授業を受けることは出来ますか？

A.はい、講師の人数調整のためお申込み時点でお伝え頂く事をお願い致します。
追加レッスン料として、別途マンツーマン授業700ペソ/1コマが必要になります。

Q4.留学する人は、大学生が多いですか。

A.当校はマンツーマンレッスンを多く取り入れたカリキュラム構成になっていますので、主に30～60代の多くの社会人の方に留学して頂いています。

Q5.治安が心配ですが、具体的にどういう点に気をつけたら良いですか。

A.外出時は貴重品の管理に注意して下さい。学生が最も遭いやすのがスリです。
また、夜間での1人行動は避けるようにしてください。

Q6.入寮・退寮・延泊について。

A.日曜日に入寮で土曜日に退寮(正午12時00分チェックアウト)です。

前泊・延泊は、2,000ペソ/1泊(複数人部屋の場合は1,500ペソ/1泊)をお支払い頂きます。

Q7.お部屋内にある設備は具体的に何がありますか？

A.冷蔵庫、エアコン、クローゼット、テーブル、液晶テレビ、DVDプレイヤー、トイレ、シャワー、キッチン、机、電気ポット、ドライヤーになります。

Q8.コースの変更や編入はできますか。

A.基本的には毎週木曜日の16:30までに、リクエストの提出を学生の皆様をお願いしております。金曜日に翌週のスケジュールを作成致しますので、リクエスト内容に応じた変更は翌週にさせて頂いております。コース変更の際に差額が発生する場合は現地にて差額分のお支払いをお願い致します。

他の生徒と講師の兼ね合いがございますので、金曜日にリクエストを下さいましても、翌週にコース変更が出来ない場合もございます。当校は少人数制の学校になりますので、比較的に学生様1人1人のご要望を受け入れやすくなっています！

★お申込みを頂いてからのキャンセル料は、下記の払い戻し規定に基づきましてご返金させていただきます。

- キャンセル申込み時点が入学31日前まで ⇒ キャンセル料金、30,000円(1人当たり)
- 入学30日～5日前まで ⇒ キャンセル料金、留学費用の30%分
- 入学4日前～2日前まで ⇒ キャンセル料金、留学費用の50%分
- 入学前日及び入学当日 ⇒ キャンセル料金、留学費用の60%分
- 入学当日の無連絡でのキャンセル ⇒ 払い戻しなし

★現地でキャンセル申込みの場合 ⇒ 留学残り日数が29日以上ある場合は、29日以降分に関しての料金の50%分を返金

★お申込みを頂いてからコースのご変更をされる場合

- 留学開始日の22日前までは15,000円
- 留学開始日の21日後までは20,000円

以上が当校の規定となっております。

Q9.現地へ行ってから、部屋の移動や変更はできますか。

A.生徒さまへの公平性の面から、現地でのお部屋の変更につきましては基本的に承っておりません。

Q10.空港までのお迎えは何時までですか。

A.基本的に当校では日曜日に現地へ到着して頂く形となりますが、日曜日中でしたら深夜でも早朝でもお迎えに向かわせていただきますのでご安心ください。

⑧金銭トラブル・盗難にあったら

■現地で盗難に遭ったら

◎被害にあった場所の最寄りの警察署へ被害届を提出してください。

学校の近くの警察署ではなく、被害にあった地域を管轄している警察署へいき、そこで被害届を出しましょう。英語でのやり取りに自信がない方は、学校スタッフに相談して付き添ってもらうなどするとスムーズです。基本的にフィリピンでの盗難や物品を紛失した場合、戻ってくる可能性はほぼ皆無です。狙われないためにも隙を見せないような行動を心掛けましょう。

■金銭トラブルに巻き込まれたら

◎金銭の管理はすべて自己責任です。

個人間のお金の貸し借りは個人判断になりますので、万が一トラブルに発展したとしても弊社及び学校側は一切責任は取れません。学生同士など校内での場合も同様ですので、トラブルに巻き込まれないためにもお金の貸し借りは十分気をつけてください。

■現地生活での注意事項

◎貴重品から目を離さず、常に身の回りに置くようにする。

外出先では鞆などをどこかに置いたまま離れない。行内でも貴重品の管理が自己責任です。

◎レジでの支払いの時など、財布やその中身を見られないようにする。

会計時など財布を開くときは中身があまり見えないように警戒すること。

◎危険な場所、深夜の一人歩きは避ける。

あまり知らない地域や細かい路地裏、深夜の単独行動は避けること。

◎移動はタクシー、夜間は複数で利用する。

基本的に移動にはタクシーを利用し、夜間は1人ではなく複数で利用すること。

◎他人からもらったものを口にしない。

居酒屋などで仲良くなった現地人から勧められた飲み物に睡眠薬が入っていて、寝ている間に荷物を全て持って行かれたという事件も実際にありました。

お金目当てに日本人に近づいてくる悪い人もいる為、少し仲良くなったからといって、すぐに他人を信用しないこと。

◎他人を無条件に信用しないこと。

基本的に学校外での行動はすべて自己責任となります。うまい話や勧誘に乗らないように十分気をつけて行動すること。

◎麻薬等、ドラッグには絶対に手を出さない。カジノへ出入りしない。

フィリピンでは麻薬に関して大変厳しく取り締まられています。麻薬の売買は終身刑、所持していただいても無期懲役になります。カジノへの出入りは校則違反です。発覚すると即退学になります。



⑨持ち物リスト1：基本的に準備に必要なもの

■基本的に準備が必要なものの必須選択

★パスポート

パスポートの残存有効期間は『滞在期間+6カ月間』が必要です。

★海外旅行保険証書(コピーでも可)

※海外旅行保険への加入は必須です。クレジットカード付帯の保険も可。

★フライトカンファメーション

現地空港でのピックアップ案内(緊急連絡先電話番号、学校住所など)

★証明写真(日本のパスポートサイズ4.5×3.5cm、または5cm×5cmサイズ)

留学7週までの場合は3枚、留学8週以上の場合は4枚

★電子辞書(スマートフォンなどで代替りになるもの)

持ち運びに便利で、素早く調べられるので非常に便利です。
英和・和英以外に英辞典の機能があると更に良いです。

★参考書

日本で使っていた文法や会話などの参考書、単語帳などがあると役に立ちます。

★筆記用具

現地でも安くショッピングモールで購入は可能ですが、日本製の方が(紙・ペンなど)品質は良いので持参される事をおススメします。

★生活費

ショッピングモール内での日本人向けの外食 1回 700~3,000円程度
リゾートホテルの1dayコース(ランチ付) 3,000~8,000円程度
観光ツアー 約7,000~12,000円程度

★航空券

復路もしくはフィリピンを出国する航空券(なければフィリピン国内に入国できません)



⑩持ち物リスト2:生活必需品

- ①衣類 ⇒ ドライクリーニングなどはないので質の良い服は持っていないほうが良いです。
 - ②水着 ⇒ 週末などに海へ旅行に行く事が出来ますので持っていくと良いでしょう。
 - ③サングラス・帽子 ⇒ 日差しが強いのでサングラスや帽子をご持参されることをお勧めします。
 - ④下着・靴下・タオル
 - ⑤虫よけ
 - ⑥メガネ・コンタクトレンズ ⇒ コンタクトレンズの洗浄・保存液は現地で購入できます。80~250ペソ。
 - ⑦常備薬 ⇒ 風邪薬、下痢止め、胃薬、鎮痛剤など普段から飲み慣れているものをご持参下さい。
 - ⑧化粧品類 ⇒ ご自身の肌質に合ったものをご用意下さい。スキンケア用品、日焼け止めもお忘れなく。
 - ⑨デジタルカメラ ⇒ 現地で購入すると高いので日本から持って行った方が良いでしょう。充電器もお忘れなく。
 - ⑩ドライヤーはお部屋に備えてございます。
 - ⑪生理用品 ⇒ 現地でも購入できますが、日本製の方が品質が良いのでこだわりがある方ご持参されるのをお勧めします。
※生活必需品(シャンプー、リンス、石鹸)は1日分のご用意がございます。
その他、タオルは1セットのみで交換はありません。また、歯磨き粉、歯ブラシなどは一切備え付けられておりません。
現地でも購入できますので少量だけ準備して、足りない分は現地で購入するのが良いでしょう。
- ★トイレトペーパー ⇒ 週3回(月、水、金)、清掃時にトイレトペーパーを補充いたします。
清掃日までにトイレトペーパーがなくなってしまった場合は、各自でご用意くださいませ。



⑪フィリピンへの荷物の送り方

■フィリピンへ荷物を送る方法

①送業者を選ぶ (EMS・FedEx・DHLなど)

- EMS :<http://www.post.japanpost.jp/int/ems/>
- FedEx:<http://www.fedex.com/jp/>
- DHL :<http://www.dhl.co.jp/ja.html>

②配送業者へ連絡し、重量・料金・日数などを確認し、 最寄りの営業所へ行くか集荷を依頼

③業者別にお問い合わせ番号があるので、 ウェブサイトから番号追跡し届いたかを確認

<送り状の書き方>

留学先の学校の住所を記載し、おくりたい人(自分あてなら自分の名前)の名前を記入

例) Brilliant Cebu校に滞在している「山田花子」宛に送る場合
(郵便番号ZIP#:6000)

住所: Brilliant Cebu English Academy ,8F Robinland Bldg,
Zuellig Ave. Mandaue Reclamation, Mandaue City,Cebu 6000
Ms. Yamada Hanako Tel:032-420-9987

<フィリピンへ送れない物>

< 貴重品類 >

(現金、キャッシュカード、クレジットカード、貴金属類など)

< 食品 >

(生鮮食品、動物、肉類、偽りの医薬品など)

< 爆発性・発火性の固体・液体類など >

< 刃物や麻薬類 >

※詳しくはコチラ↓

日本郵便ホームページ:トップ ⇒ 国際郵便 ⇒
よくあるご質問 ⇒ 内容品について

http://www.post.japanpost.jp/cgi-kokusai/nonmailable_articles.php?p=1&cid=162

※ご不明な点やご質問等は各配送業者へお問い合わせ下さい。

●EMS :0120-5931-55

※携帯電話からは0570-046-666(通話料有料)

●FedEx:0120-003200

※携帯電話からは043-298-1919(通話料有料)

●DHL :0120-39-2580

※PHS・携帯電話からもご利用可能です

⑫日本への荷物の送り方

■日本へ荷物を送る方法

<郵便局の場合>

◎EMS(航空便)(到着日数:3~7日間)※税関の対応によって変動あり

<配送料金>

1kg:1,059ペソ 3kg:1,923ペソ

5kg:2,787ペソ 10kg:4,947ペソ

15kg:7,107ペソ 20kg:9,136ペソ

※重量制限あり:20kg以上の受け付け不可、尚、手紙であれば80円程度で郵送可能。

◎SAL(船便)(到着日数:約1ヵ月)

配送料金はEMSより激安だが、とにかく日数がかかる上、乱暴に扱われるので壊れる可能性のあるものは入れないこと。

<最寄りの郵便局>

★セブ島:Cebu Central Post Office TEL:032-253-8892

★マクタン島:Lapu-lapu City Post Office TEL:032-340-0899

※個人で最寄りの郵便局へ行き、荷物をパッキングして配送手配をします。

<民間企業の場合>

◎FedEx(航空便)(到着日数:2週間前後)

<配送料金>

1kg:1,727ペソ 3kg:2,318ペソ

5kg:2,954ペソ 10kg:4,318ペソ 15kg:5,408ペソ

※重量制限なし:各地位の最寄りの営業所へ行き、個人でアカウント作成及び配送手配をします。

●FedEx営業所:<http://www.fedex.com/ph/dropoff/>

◎DHL(航空便)(到着日数:2~3日間)※税関の状況によっては3~5日間

※<http://www.dhl.co.jp/ja.html>



⑬帰国便の日程を変更する場合

■フライトスケジュールの変更方法

- ◎FIXタイプの航空券: 日付やルートの変更は一切できません。現地で新たに航空券のご購入が必要です。
 - ◎OPENタイプの航空券: 有効期間内で空席があれば現地で日付の変更のみ可能です。
- ※ご利用の航空会社へ電話をするか、直接変更手続きを行って下さい。

▼下記、各航空会社の営業日等は変更になる可能性があります。



●フィリピン航空 (PHILIPPINE AIRLINES)

<東京支店> TEL:+81-3-5157-4362
<マニラ支店> TEL:+63-2-855-8888
<セブ支店> TEL:+63-32-340-0422
<ホームページ> <http://www.philippineairlines.com>
(※その他の地域の支店情報をご確認下さい。)

●大韓航空 (KOREAN AIRLINES)

<東京支店> TEL:+81-6-6264-3311
<マニラ支店> TEL:+63-2-789-3700
<セブ支店> TEL:+63-32-340-5431
<ホームページ> <http://www.koreanair.co.jp>

●キャセパシフィック航空 (CATHAY PACIFIC AIRWAYS)

<東京支店> TEL:+81-3-6746-1000
<マニラ支店> TEL:+63-2-757-0888
<セブ支店> TEL:+63-32-231-3747
<ホームページ> <http://www.cathaypacific.co.jp>

●アジアナ航空 (ASIANA AIRLINES)

<東京支店> TEL:+81-3-5812-6600
<マニラ支店> TEL:+63-2-793-6888
<セブ支店> TEL:+63-32-342-8066
<ホームページ> <http://www.asiana.co.jp>

●中華航空 (CHINA AIRLINES)

<東京支店> TEL:+81-3-6378-8855
月-日: 09:00-12:30, 13:00-17:30

<マニラ支店> TEL:+63-2-523-8021~4
<ホームページ> <http://www.china-airlines.co.jp>

●中国国際航空 (AIR CHINA)

※フィリピン支店なし

<東京支店> TEL:+81-3-5251-0711

<ホームページ> <http://www.airchina.co.jp>

14 空港・病院情報

■病院情報

セブ島には日本人専門の「**ジャパニーズヘルプデスク**」とのサポート機関があります。

こちらにお問い合わせ頂きますと、セブ島の中でも最も大きな総合病院「**チョンワ病院**」へご案内して下さいます。

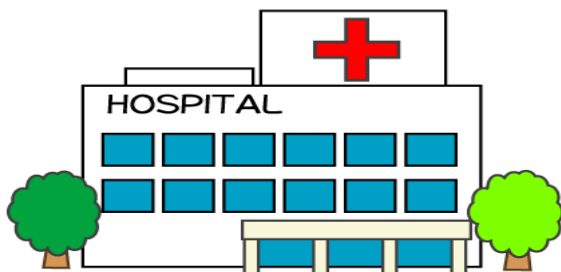
受診中の対応、医師の診断内容もジャパニーズヘルプデスクさんが通訳して下さいまして、海外保険の手続きなどもして下さいますので、よりスムーズに受診することができ、安心して頂けます。

▼CEBU(セブ)

- University of Cebu Medical Center…住所: Ouano Ave, Subangdaku, Mandaue City 電話:032-350-2656
- Cebu Doctor's Hospital … 住所: Osmena Boulevard, Cebu City 電話:032-255-5555
- Chong Hua Hospital … 住所: Don Mariano Cui Street, Fuente Osmeña, Cebu City 電話:032-255-8000

▼MACTAN(マクタン)

- Mactan Doctor's Hospital … 住所: Basak, Lapu-lapu City 電話:032-341-0000



※ 学校から一番近い病院、University of Cebu Medical Centerへは、学校から車で5分程度で行くことができます。

<英文社名>

Brilliant Cebu English Academy Inc.

<代表者> CEO :高橋 吉昭

<現地責任者> 現地日本人スタッフ :岡崎 俊輔

<学生定員数> 30名

<営業時間>

- 現地スクール :月～金曜日:8時～17時
- 日本代表事務局:月～土曜日:10時～19時(日曜・祝日定休)

<電話番号>

- 現地スクール :+63-32-420-9987
- 日本代表事務局 :052-228-7210

<ホームページ> <http://www.brilliant-cebu.com/>

<メールアドレス> info@brilliant-cebu.com

<所在地>

●ブリリアントセブ イングリッシュアカデミー

8F Robinland Bldg, Zuellig Ave. Mandaue
Reclamation, Mandaue City,Cebu

●日本代表事務局

愛知県名古屋市中区錦3丁目11-25アーク栄錦ニュービジネスビル5F

<SSP登録番号>

SBM-2013-042



<TESDA登録番号>

NTR-201307020139/NTR-201307020137/NTR-201307020138

